

道徳通信

2018/12/25

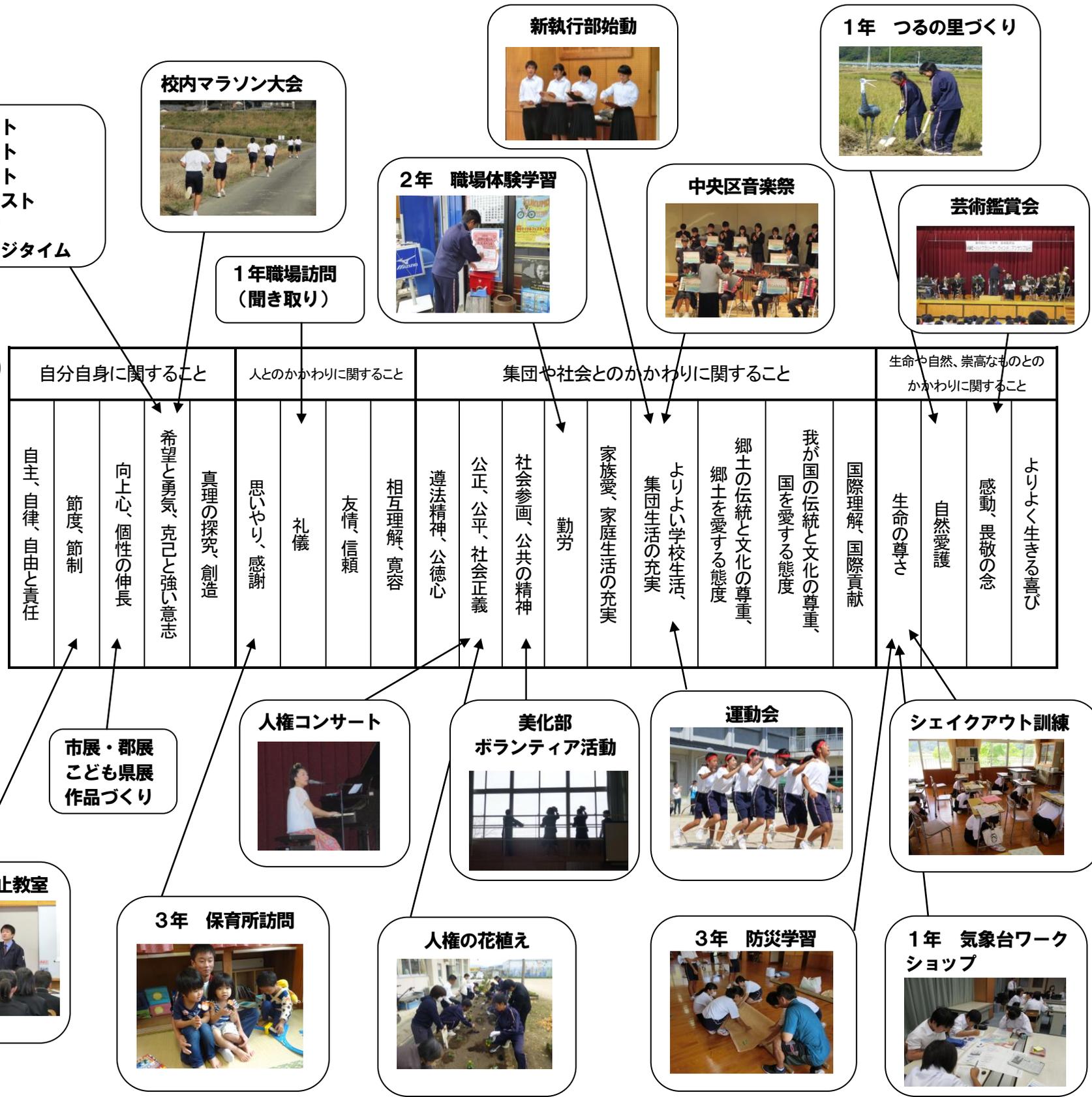
No.4

東中筋中学校

二学期を振り返って

今学期も様々な活動に取り組みました。

左の図は、二学期の主な体験活動と、道徳教育を通して育てたい心との関連を示したものです。(矢印でつないだ項目以外にも関連する項目があります。)体験することで学ぶことは多くあります。先を見通して計画を立てること、仲間と協力すること、よりよい活動になるよう工夫すること、最後までやり遂げることを、活動を振り返り改善点を見いだすこと、などです。これらことを学びながら心も育っていきます。今学期も、家庭や地域の皆さんのお力をお借りし、多くの活動に取り組むことができました。ありがとうございます。冬休みに入り、家族と過ごす時間が増えます。ご家庭でも、子どもさんの成長について、話題にしてみてください。



道徳教育を通して育てたい心です。
22の項目がめざします。

道徳参観日(十一月十一日) 授業の様子です

一年 「アキラの選択」(友情、信頼)

アキラは、中学校へ進学してから、幼なじみのリョウタと、クラスも部活動も別々になります。クラスや部活動で新しい人間関係を構築しているリョウタに対し、小学校からの友人関係に固執するアキラは、二人の物理的な距離を埋めることで、友である実感を得ようとしています。授業では、真の友情は表面的な付き合いではないことや、信頼に支えられた友情関係について考えました。



二年 「三蔵さんの田んぼ」(郷土を愛する態度)

先祖代々米を作ってきた三蔵さんの田んぼを津波が襲います。大震災で大きなダメージを負った生まれ故郷で、復興に尽力しながらも、自らは農業をあきらめなければならぬのではという思いをもつ三蔵さん。そんな葛藤の中でつぶやいた、「おらの根っこは、ここにある」という言葉に込められた思いを考えることで、自分と郷土のかかわりについて、話し合いました。



三年 「りんごの何を食へるのか」(節度、節制)

本文にある、「いやしいぜいたくもあるし、美しいぜいたくもある、冷たいケチもあるし、暖かい節約もある」という言葉の内容を整理しながら、真に豊かな生活とは、どんな生き方をすることかを話し合いました。また、将来を見据えて、生徒は、「どんなことを大事にして生活したいか」、保護者の皆さんは、「子どもさんには将来どんな風に生活してほしいか」について考え、意見交流しました。



参観者の皆様、感想をありがとうございました

★ 個人的には、中学の友達とは今でも仲良くしているので、この中学生活で友だちの事をよく考え、大事に生活していつてもらえたらと思います。(1年)



★ 今は、一緒にいる友達が友達だと思っけていても良いと思います。これからたくさんの人と出会って親友と呼べる人を見つけて下さい。(二人でも良いと思います。)(1年)

★ 友情は何でも気軽に話せる友達。自分の心をゆるせる人。友達が間違っていることをしている時には、バカにして笑うのではなく、教えてあげることも必要だと思います。ずっと一緒にいるのはもちろん楽しいし、離れていてもお互いの信頼があり、心がつながっていれば、ずっと友達でいられるのではないのでしょうか。友達について悩める時期でもあるので、友情について考えることができてよかったですと思います。(1年)

★ 友だちとなかよくしたり、なかよくあそんだり、友だちといつまでもなかよくしたいです。それに、ちがうくらすの友だちでも、いっしょにあそんでなかよくしたいです。(1年・小学生も書いてくれました。)

★ 「郷土は？」の質問に「わからない」と答えていたことに、親の実家であったり、産まれた場所であったり、今生活している四万十市といった、環境がその都度変化していることが、少し不安であったり寂しさのような感情があるのかと思いました。(2年)

★ 震災を通して、道徳の参観授業で子どもたちが感じる事や、郷土について考えた時、いろんな意見を聞かせてもらい、考えさせてもらった気がしました。貴重な時間をありがとうございました。(2年)

★ 子ども達の意見がしっかり聞けてよかったです。一人ひとりが真剣に考える姿が見られました。(3年)

★ 今送っている何気ない生活が、きっと幸せなんだろうなとあらためて気づく機会となりました。ありがとうございました。(3年)

★ 社会に出て、ひとりで生活した時、嫌なことがあった時、前向きな考えに戻ることができる考え方を養うことができる様な授業だと思いました。(3年)



よいお年をお迎えください。